

令和6年度第2回小学校教科担任制推進協議会 実践交流資料

1 学校名・教科型

熊野町立熊野第三小学校 9教科型

2 学校の概要

学級数及び児童数(R6.12.1現在)

	通常学級							特支 学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
児童数	56	49	37	45	45	46	278	11	289
学級数	2	2	2	2	2	2	12	3	15

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	1	2	1	2
5年1組 (担任：A)	B	B	A	A	推進	推進	A	専科	専科	A	A	A	専科
5年2組 (担任：B)	B	B	B	A	推進	推進	B	専科	専科	B	B	B	専科

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2	1	2
6年1組 (担任：C)	C	C	C	D	推進	推進	C	専科	専科	C	C	C	専科
6年2組 (担任：D)	C	C	D	D	推進	推進	D	専科	専科	D	D	D	専科

4 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

<効果のあった取組>

- ①同じ授業を2学級で行ったり複数の教員で指導案検討や授業参観を行ったりした。
- ②各教科での児童の様子を見取るため、各教科担任が児童の様子をエクセルのシートに入力した。
- ③中学校の教員が体育科の授業を行っている。
- ④時間を有効に使えるようにするため、チャットで次週の時間割など教員間の連絡をした。



- ④出張等で授業ができない教師がいる場合、教科担任間で時間割を調整し、授業を進めた。
- ⑤学級づくりをするため、年度当初や学期始めは担任の時間を多くした。
- ⑤教科担任間で統一した指導を行うため、きまりなどについて確認しながら、指導を行った。



＜成果＞

- ①同じ授業を2回行うことで授業をブラッシュアップできたり、複数の教員で指導案検討や授業参観を行うことで様々な見方をしたりすることができた。(教員へのアンケートにおいて、授業改善、学習指導の充実についての肯定的評価 88.9%, 系統的な指導についての肯定的評価 100%)
- ②複数の教員で各教科での児童の様子を見取ることで、多面的に児童を理解することができた。
- ③高学年のうちから、中学校のやり方で授業を受けられるので、児童が中学校へ行っても戸惑いなく学習に取り組むことができています。また、児童が中学校へ行った時に、知っている先生がいる安心感がある。
- ④昨年度は、教科担任制に関わる教員が全員集まれる日の大休憩に、次週の時間割を調整したり児童の情報を共有したりするために、週1回集まってミーティングをしていたが、チャットで教員間の連絡をすることで、大休憩に集まる教師の負担を軽減し、時間を有効に使うことができた。
- ④出張等で授業ができない教員がいる場合、教科担任間で時間割を調整することができ、どの教科の授業も進めることができた。
- ⑤年度当初に、担任との信頼関係を築いたり、学級でのルールを確認したりでき、学習の基盤となる学級づくりをすることができた。
- ⑤教科担任間できまりなどについて確認しながら、統一した指導を行ったことで、児童がきまりを守り、落ち着いて過ごすことができた。

＜課題＞

- ①欠席児童の学力補充
- ②教科担任間の生徒指導上の問題についての連携



＜対策＞

- ①授業の導入や単元末、休憩時間に学力補充をしたり、教科担任から学級担任にテストの実施を依頼したりした。
- ②各教科担任が、生徒指導上の問題を入力、確認できるようにシートを作った。